



# 燦たり東郷

北九州市立東郷中学校 学校通信  
令和7年度 第1号 (R7, 4, 11 発行)  
発行者: 校長 飯田 聖二



## 令和7年度のテーマ 「和気藹々 ~One for all~」

4月8日(火)に始業式、4月10日(木)に入学式を行い、1年生18名、2年生24名、3年生17名の全校生徒59名と教職員一同で、71年目の東郷中学校がスタートしました。

着任式では4名の新しい先生をお迎えしました。3年生も2年生も落ち着いた態度で、昨年1年間の成長を感じ、今年はどれだけ成長するのだろうか、ワクワクしてきました。

入学式では、1年生の「頑張るぞ」という強い気持ちをひしひしと感じました。

全員で力を合わせて、東郷中学校の歴史に新たな1ページを刻んでいきましょう。

## 入学式式辞の一部を紹介します

東郷中学校の校訓は「真実」です。真実とは、嘘や偽りのないこととあります。まずは、自分に嘘をついたり、自分を偽ったりすることのないようにして、自分自身を大切にしてほしいと思います。その一歩として、素直に「ごめんなさい」ができるようになってください。そもそも、完璧な人はいないと思うので、失敗することもあります。その時に、素直にごめんなさいができるようになることは、人としての成長につながります。この3年間の皆さんの成長を楽しみにしています。

ところで、東郷中学校は、これまで卒業生の皆様、保護者の皆様、地域の皆様にささえられ、今年、創立71年目を迎えました。71回目の新入生として、頑張してほしいことが2つあります。

一つ目は「和気藹々」です。辞書には、「仲良く和やかな雰囲気満ちていること」とあります。先ほどもお話ししたように、完璧な人はいないと思います。得意なこともあれば、苦手なこともある。好きなこともあれば、嫌いなこともある。一人ですべてをこなすことはできないと思います。だからこそ、お互いに知恵を絞り、力を合わせてすすめていくことが大切だと思います。東郷中学校は、北九州市で一番生徒数が少ない中学校です。このことを強みとして、フットワーク軽く、いろんなことに取り組んでいきたいと思っています。そのためには、和気藹々を基盤とした、良好な人間関係が大切だと思います。お互いに相手を思いやり、認め合い、失敗しても温かく見守り、励まし、支えあい、みんなが安心して通える、そんな学校を作っていきましょう。

二つ目は、「One for all」です。これは、ラグビーというスポーツでよく使われます。「一人はみんなのために」という意味です。まずは、自分の役割を自覚し、責任を果たす。そうすることで、全体にいい影響を与えるということです。さきほど、自分自身を大切にしてほしいと話しました。自分自身を大切にすることが、他人を大切にすることにもつながります。この1年、先生たちは、様々なことを計画し、チャレンジしていきます。皆さんも一緒に、東郷中学校の歴史に新たな1ページを刻んでいきましょう。

## 令和7年度 東郷中学校 職員紹介

71年目の東郷中学校の職員です。  
一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

【各学年】

【全体に関わる教職員】

### お世話になった先生方

3月24日（月）に、修了式後の離任式で、4名の先生方とお別れをしました。長い間、お世話になりました。

<保護者の皆様へ>

創立71年目を迎え、「和気藹々 ~One for all~」をテーマに、この1年間、取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

4月19日（土）は、午後授業参観となっておりますので、弁当の用意をお願いします。また、授業参観後、1年生はふれあい合宿説明会、2年生は学年懇談会、3年生は進路説明会を行います。

奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

